

【全国納税貯蓄組合連合会優秀賞】

VUCA時代の税金の重要性

鹿児島市立星峯中学校

三年 知覧 颯笑

あなたは、「VUCA」という言葉を聞いたことがありますか。VUCAとは、変動性(V)、不確実性(U)、複雑性(C)、曖昧性(A)という4つの言葉の英語の頭文字をとった造語です。物事の不確実性が高く、将来の予想が困難であることを意味しています。また、自然環境の変化や頻発する災害、感染症の世界的流行など、私たちを取り巻く状況が目まぐるしく変化する現代を、「VUCA時代」と呼ぶことがあります。私は、このような先の見えない時代において、税金の重要性が高まっていくと考えます。

まず、注目するのは、地球温暖化における税金です。あなたは、年々暑さが増しているように感じませんか。気象庁によると、二〇二三年は、日本の年平均気温および日本近海の平均海面水温が、いずれも統計開始以来最も高い値になったそうです。この情報から、地球温暖化が深刻化していることが分かります。そして必然的に、熱中症患者も増加傾向にあります。総務省消防庁によると、令和五年五月から九月の、全国における熱中症による救急搬送人員の累計は九万四千四百六十七人で、調査開始以降二番目に多い結果だそうです。そして今年も、熱中症関連のニュースを毎日のように耳にします。この状況をふまえて政府は、「酷暑乗り切り緊急支援」として、八月から十月の三か月分について電気・ガス料金補助を行うと発表しました。熱中症対策で、クーラーや扇風機などに使われるエネルギーは必要不可欠です。そしてその補助金や、熱中症患者を救急搬送するお金は税金で賄われています。税金が現代の私達の暮らしを支えていることが容易に理解できるでしょう。

次に注目するのは、国際協力における税金です。二〇二二年二月、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始し、世界に衝撃を与えました。日本政府は、「日本はウクライナと共にあります」というウクライナへの協力の姿勢を示し、様々なウクライナへの支援か、ロシアへの措置を採ってきました。例えば、電力を供給する移動電源車を六台、日本製地雷探知機五十台および車両四十台をウクライナへ供与しました。他にも医療や食料などの様々な面から支援を行い、二〇二三年時点では、日本はウクライナにとって第三位の資金援助国であり、全面侵攻が始まってからの拠出額は合計四十二億ドルに上ったそうです。このような人道支援は、平和な世界を目指す上で重要なことだと思います。それを支えているのも、税金なのです。

このように、税金は時代の変化に合わせて使い道が変化しながら、私たちや世界の人々を支えています。地球温暖化や少子高齢化が進行し、世界情勢も目まぐるしく変わっていく、このVUCA時代に翻弄されないためにも、税金は必要不可欠です。今こそ、税金の重要性を見直しませんか。